

水 キ ッ ズ 補 欠 ゼ ロ リ ー グ !

補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主催】 (公社)岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFAキッズリーダー、ご協力いただける父母の方々など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属するキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること

- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け（4～5人制）して、そのチームでその日限りのリーグ戦（3試合程度）を戦い抜きます。

- ★ 混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 4～5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う

盛岡地区 夏季の部 ダイジェスト その1 (U-6、U-8)

- 【参加団体】 緑が丘、仙北、アントス、月が丘、青山、月が丘、松園、太田東、MIRUMAE、山岸、上田、盛岡中央、グルージャ、手代森、厨川、イースト、玉山、OGASA、向中野、南公園スクール、Grows、県協会月が丘スクール&エリート盛岡スクール
- 【運営本部】 大久保和志（市協会キッズ委員長）、石山信三（市協会キッズ委員、山岸）
吉田隆一（事務局代行、山岸）、齊藤義光（市協会キッズ委員）、鎌澤和之（県協会キッズ）
- 【学生協力】 岩手大学サッカー部マネージャー（男子学生・女子学生）のみなさん
- 【協賛】 シライシパン（パン・和洋菓子の製造卸売業）

● 2014年5月31日（土） 8:30～12:30 盛岡南公園球技場

● 参加人数 180名（園児…33名、小1…73名、小2…74名）

【市協会キッズ委員会作成・オリジナル横断幕】



【年長児 試合】



【年中児 試合】



【小1 試合】



【小2 試合】



【活動を終えて】 運営責任者コメント

今年度初めての「補欠ゼロリーグ」が5月31日晴天の中、南公園球技場で行われました。

昨年度は途中からU-6として「園児の部」を開催しましたが、今年度は初めから「園児の部」を設けました。

また、小学校2年生をチーム対抗戦方式でコートを大きくし6人制にしましたが、「補欠ゼロ」を基本に当日集まっていた2年生を全員集合いたしまして、各チーム6人ずつのチームとして作成し全員をゲームに出すことを基本としました。

それに、審判は各チームの指導者、父母にお願いいたしましたが、足りないゲームにはキッズ委員会のメンバーを充当してゲームを楽しみました。

「園児の部」については、昨年からお願いたしております、岩手大学サッカー部のマネージャーのお兄さんお姉さん達に今年度もお願いしご協力をいただきました。

さらに今年度からキッズの横断幕を作成し周りからも「補欠ゼロリーグ」を行っていることがわかるようにしました。

今年度は、色々と新たな試みを行い「いかにすれば、子供たちが楽しくサッカーに触れ合うことができるか」「市内のスポーツ少年団との融合を図れるか」等取り組んで行きたいと思っております。

ゲームも終わり最後の体操を行い全員で挨拶した後、記念写真を撮影し待ちに待ったお土産の配布となりました。

今年度もご協力をいただき、地元のパン屋さん「白石パン」のご好意でパンを無償提供していただき子供たちは、このパンが大好きでパン目当てに参加している子もいると聞いています。

今年度の「補欠ゼロリーグ」は、夏7回（すべて南公園球技場）冬4回（岩手県営体育館）と合計11回予定しております。

次世代を担う園児、小学生にサッカーを通して仲間をたくさん作ってもらい、元気よく楽しんでもらうことができるようにサポートして行きたいと思っております。

大久保 和志（運営本部長、盛岡市サッカー協会 キッズ委員長）



● 2014年6月7日(土) 8:30~12:30 盛岡南公園球技場

● 参加人数 163名 (園児…20名、小1…69名、小2…74名)

【園児 + 岩手大学サッカー部マネージャーお姉さん】



【小1】



【小2】



(編集 : 県協会キッズ 鎌澤)

